

日本女子大学 紀要

文学部

68

石川淳「善財」論―愛と錯覚の政治学	山口俊雄	(1)
安史の乱における唐陣営下のソグド武人		
―唐・李志忠墓誌」を手がかりに―	山下将司	(35)
司書教諭講習の黄昏	大谷康晴	(1)
「ていつ」「ていつ」の学習者の使用状況		
―学習者コーパスを用いて―	江田すみれ	(13)
Use of “like” by English Speakers as a Filler in Japanese Conversation	Kazuko Tanabe	(39)
明治中期の前橋製糸業		
―「農事調査」と横浜売込記事集計を 中心として(上)―	井川克彦	(49)
大和国における古代・中世の多様な山菜類の 採集と食の実態に関する基礎的研究	伊藤寿和	(69)
蕭紅・蕭軍往復書簡―北京―上海―		
翻訳と注釈	平石淑子	(85)
平成三十年度卒業論文題目		(57)

平成三十年

『日本女子大学 紀要 文学部』

編集規程

1. 本紀要は、文学部所属の専任教員に対して、研究を発表する場を提供することを目的とし、毎年3月に発行する。
2. 本紀要の編集は、文学部教授会において選出される2名の委員の構成する紀要委員会が行う。委員長は委員の互選による。
3. 本紀要に執筆できるのは文学部所属の専任教員とする。
4. 本紀要に掲載する論文は、単著・共著を問わない。ただし、共著の場合は、執筆者の少なくとも1名が本規程第3項に該当するものでなければならない。
5. 日本語論文の長さは400字詰め原稿用紙で30～100枚程度とする。欧文の場合はこれに相当する長さとする。
6. 紀要委員会は日本文学科・英文学科・史学科の各学科に400字詰め原稿用紙で同等の枚数を配当する。各学科はこの配当額と本規程第5項を勘案して執筆予定者を決定し、これを6月末日までに紀要委員会に報告する。原稿の締め切りは9月末日とする。
7. 論文の執筆者の抜刷は50部までを無料とし、それ以上は実費負担とする。
8. 本紀要に掲載された論文等（書誌情報、画像情報、本文）の著作権（著作財産権、copy-right）は執筆者に属するが、執筆者は本学リポジトリなどへ電子化し、公共の利用に供すること、および、それに付随する複製権、公衆送信権の行使について日本女子大学に許諾する。

執筆要項

1. 原稿は横書き・縦書きいずれでもよい。
2. 原稿には欧文タイトル・ローマ字氏名・所属学科を明記すること。ただし欧文原稿には日本語タイトル・片仮名氏名・所属学科を明記すること。
3. 原稿はメモリースティック等電子フォーマットしたものと、プリントアウトしたもの2部とを提出すること。記録媒体には使用ソフト名と氏名を明記すること。
4. 校正は原則として再校までとし、著者が行う。

日本女子大学 紀 要 文学部 第68号

平成31（2019）年3月20日発行

編集委員 江田すみれ、臼杵 陽

発行所 日 本 女 子 大 学

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

電話 03(5981)3500(代表)

印刷所 株 式 会 社 ウ ィ ザ ッ プ

〒105-0012 東京都港区芝大門1-2-21

セゾンビル芝大門3階

電話 03(3431)3058

本誌掲載の諸論文は、執筆者の日本女子大学への許諾にもとづき、日本女子大学によって電子化複製され、公衆送信されます。

JOURNAL

Faculty of Humanities

68

- On Ishikawa Jun's *Zenzai* (Sudhanakumâra)
.....YAMAGUCHI Toshio... (1)
- Military Officers of Sogdian under the Tang Dynasty during the An Lushan Rebellion
— Analysis of the Epitaph of Li Zhizhong —
.....YAMASHITA Shoji... (35)
-
- The Demise of the Training Course for Teaching
— Librarians in Japan OTANI Yasuharu... (1)
- On the Usage of “-te-iru” and “-te-ita”
— Research Based on Japanese Learners' Corpora — GODA Sumire... (13)
- Use of “like” by English Speakers as a Filler in Japanese Conversation
.....TANABE Kazuko ... (39)
- The Reeling Industry in Maebashi City in 1888IGAWA Katsuhiko... (49)
- A Fundamental Study of the Condition of Wild Vegetables
during the Ancient and Middle Ages in Yamato-no-Kuni ITO Hisakazu... (69)
- Correspondence between Xiao Hong and Xiao Jun, Beijing — Shanghai :
Translation and Notes HIRAISHI Yoshiko... (85)

Japan Women's University

2018